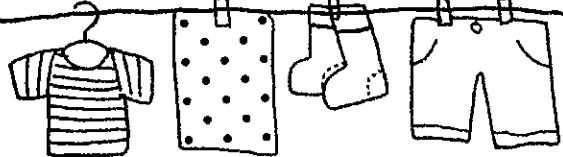


あーち通信 9月号

arch-tsushin



「のびやかスペース あーち」7周年に際して ～運営担当の教員からのメッセージ～

開設してから満7年がたちました。あらためて、これまでの歴代スタッフ・現スタッフの方々、個人的に支えてくださっている地域の方々、組織的として連携してくださっている様々な団体、そして神戸大学の関係者に心より感謝申し上げます。

5年が経過した時点で実施した利用者対象調査の回答のなかで最も印象に残っているのは、「あーちは利用者各自が自分なりの距離感を持ってかかわれる場である」という意見です。何かを押し付けるのではなく、かといって突き放すのでもなく、利用者の利用の仕方に寄り添う私たちの姿勢が高く評価されたと大変嬉しく感じたことを覚えております。

これからも、地域の人々の「生活の一部」として「あーち」があり続けることを目指していきたいと思います。(伊藤)

あーち開設のときには幼かった子どもたちの中には、もう中学生や高校生になっている人たちもいて、時の流れの早さを感じます。長い関わりの中であたたかいコミュニティが育まれてきているように思います。他方、いくつかのプログラムには新旧交代や刷新の要請もあり、7年にして一区切りの感もあります。

思えば、あーちは、神戸大学が市から5年契約で場所を借りたところから始まりました。現在は単年度契約になっていますが、「もうやめよう」という声は大学からも市からも出そうにありません。安定した評価は、スタッフ、ボランティア、そして利用者のみなさんのお陰だと思います。ありがとうございます。この調子で10周年をめざしましょう。(津田)



あーち博物館 海Ⅱ

今回も「こらぼ」を空間芸術の世界に！

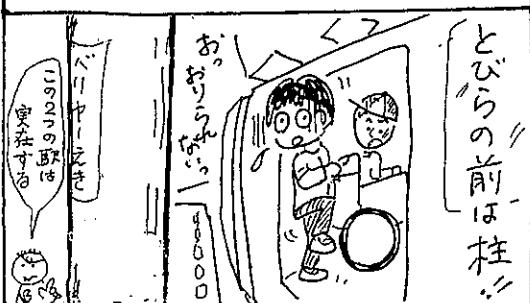
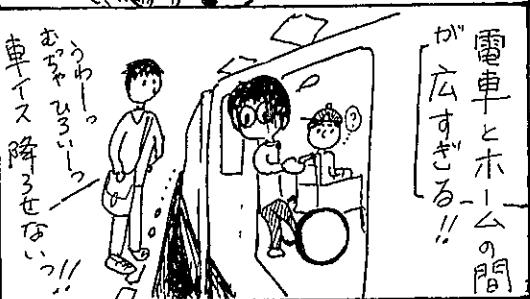
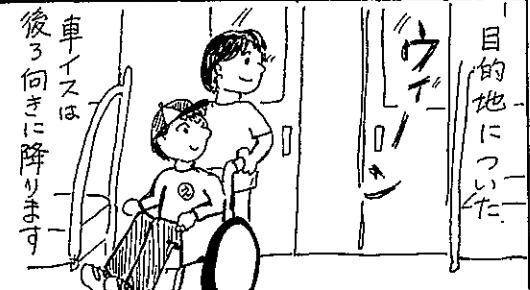
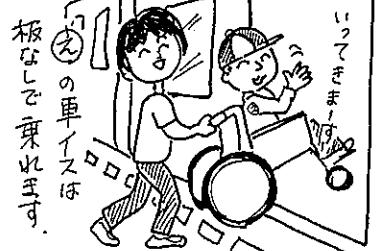
澄み渡る青い海と、暗闇の深海。

アートを体感しにご来場ください。

9月29日(土)~10月4日(木)※最終日は3時まで

えんじえる君 by Bon

おりられない！

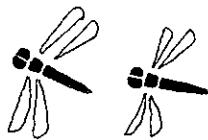


2012年 9月号 vol.84

神戸大学大学院サテライト施設
「のびやかスペース あーち」
〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通3-6-18
TEL&FAX 078-805-6090 【開館：火～土曜日】
Email arch@h.kobe-u.ac.jp
<http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11
TEL 078-803-7970 FAX 078-803-7971

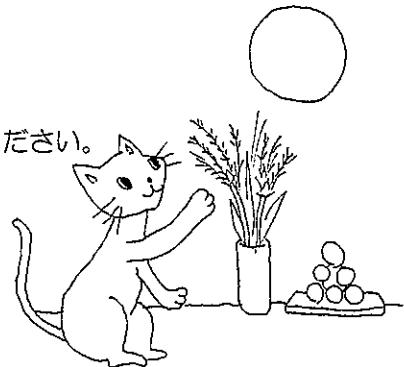


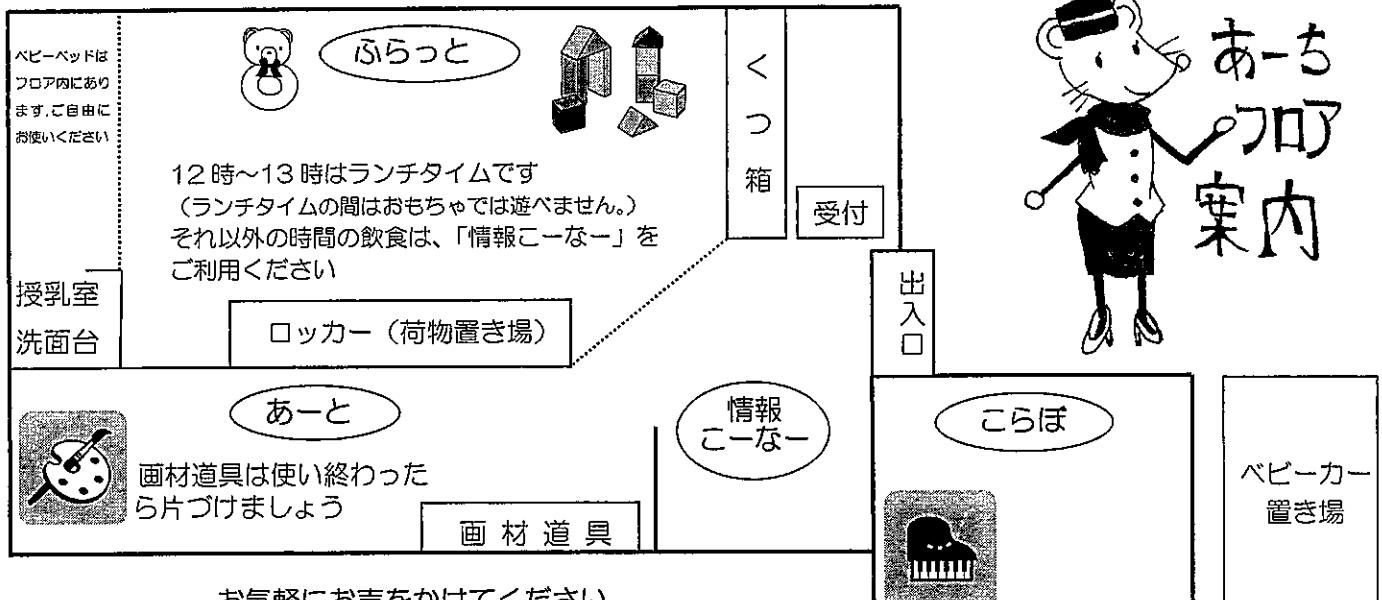
9月予定表



		こらぼあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	土			
2	日		休 館	
3	月			
4	火	ほっと（予約制）10時30分～	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
5	水	あーち♥ピギナーズ交流会（予約制） 1時30分～3時(6か月未満のお子さん)		
6	木		あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	お口と歯の相談タイム 1時30分～
7	金	親子わらべ歌あそび 11時20分～ 居場所づくり 3時～6時		
8	土	0歳児のパパママ交流会（※通年プログラム）中・高校生の赤ちゃんとふれあい	人形劇 2時～3時	
9	日		休 館	
10	月			
11	火	ほっと（予約制）10時30分～		おひさまひろばあーち（午前中）
12	水	ほのぼの音ランド 11時20分～ あーち連絡協議会 3時～	あーち通信編集会議 1時30分～	ベビーマッサージ（はいはい）11時～ おりがみあそび 2時30分～
13	木		筆をもとう 1時～2時30分	
14	金	居場所づくり 3時～6時		
15	土	ぼっとらっく（予約制）午後		紙芝居 11時～
16	日		休 館	
17	月			
18	火	子ども家庭支援部門企画会議（午後）	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
19	水			
20	木		めだか親子クラブ 2時30分～	
21	金	親子わらべ歌あそび 11時20分～ 居場所づくり 3時～6時	アートセラピー 3時30分～5時	
22	土		休 館	
23	日			
24	月			
25	火	博物館実習（準備）		おひさまひろばあーち（午前中）
26	水	博物館実習（準備）		おしゃべりほっとタイム 11時～
27	木	博物館実習（準備）	筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ（ねんね）11時～
28	金	博物館実習（準備）	居場所づくり 3時～6時／らくがき おばさんがやってきた 3時30分～	
29	土	博物館（展示）		
30	日		休 館	

- 太字のプログラムは今月の特別プログラムです。
- 予約制以外の、どのプログラムも参加（見学）することができます。
- プログラム参加の年齢制限はありませんが、内容などの詳細は受付までお問合せください。
- 「ベビーマッサージ」にご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。
- 「アートセラピー」「らくがきおばさんがやってきた」は汚れてもいい服装でご参加ください。
- 「0歳児のパパママ交流会」の本年度参加受付は終了いたしました。（見学可）





お気軽にお声をかけてください

＜ふらっと相談員＞

- 火曜 午前 保育士 助産師
- 午後 瀬戸内地域活動支援コーディネーター
- 水曜 全日 元母子相談員
- 午前 臨床発達心理士（不定期）
・NPO 法人マザーズサポートー協会（第4水）
- 木曜 全日 発達相談員
- 午前 助産師（月2回）
- 金曜 午後 瀬戸内地域活動支援コーディネーター
- 土曜 午前 助産師（第2土）

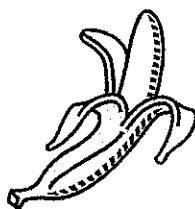
プログラムがない時はピアノを弾くことができます（受付までお申出ください）

あーちのルール

- ☆オムツやゴミは必ず持ち帰りましょう
- ☆託児の機能はありません
- ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です

【だいすきせんシリーズ】

■ バナナ ■ 指導・天野 實
絵・斎藤 雅緒
フレーベル館



バナナ。木のようだ大根草ですか！ 知っていました？

以前、TVで見た時に「へえ～～」と驚き見入ってしまいました。

一度実をつけると植れる。あれ? けい実を育てるんですものね。

写真!? 絵本!? よーく見てみる!

バナナの葉が… 子どもと一緒に楽しく遊ぶおやつ作り… 歴史なども私はなかなかのものを感じてしまいました。 深澤

■ 絵本から自然へ。
自然から絵本へ。
身近な自然に親しみながら
科学する心が育つ絵本です。凸
(表紙カバーより)



子育て一歩二歩

第七回 向き合う



まりまり

やんちゃや盛りを迎える1歳半になったわが子。
しょっちゅう些細なことでかんしゃくを起こすようになった。
大人ぶろうと冷静に対処しようとしても私の心は渦を巻く。
それだけで済まない。
突然のこらえきれない怒りが全身をかけめぐるようになっていた。

私の父は厳しく、父の言う事はたとえどんなに理不尽でも服従しなければならなかった。
思春期以降は大きな確執となって親子関係はひどいものだったが、今は私も独立している。
なのに、自分が受けた親からの叱責の言葉が、子どもが泣いた瞬間よみがえり
それが激しい怒りとなって目の前のわが子に向けられる。

怒りに耐えきれなくなるとクッショングラスをソファーに思いきりぶつけながら、
「受けた過去は決して引きずらない」と強く自分にいいきかせる。
にしても、しんどすぎる。

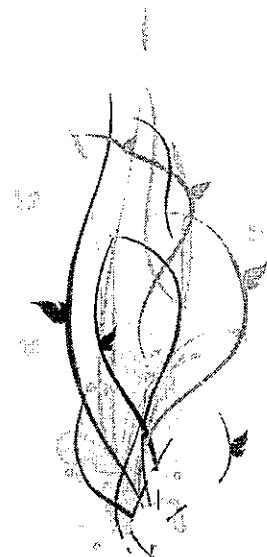
自分の負の感情を子どもにぶつければ簡単に楽になるだろう。
でもきっと私は自制がきかなくなる。人の道を踏み外していくかもしれない。

家の合理化 生活リズムの徹底・・・

無駄に怒らなくても済むように出来ることは全部試した。
それでも、怒りの炎は私を試そうと次々と襲ってくる。
ストレスは以前に増して強くなる。
更に、仕事から帰宅した夫から家庭の事で少しでも意見されると、
抑えていた感情を一気にぶつけるようになった。
普段の夫への不満もこの時に織り交ぜられ質の悪い尋問が始まり、
最後は夫に投げやりな言葉を吐き捨て別室に飛び込む。
ドアを閉めながら、子どもにさえ怒らなければいいと自分に言い訳。
残念ながら何の解決にもなってない事も自分で分かっている。
私は今、最悪の自分を夫にさらけ出している。
夫はいい迷惑だろう。

子どもを受け入れ自分自身にも向き合おうと思ったら、想像以上の忍耐行。
そして私の心の器は、ずいぶんと小さい。
閉じこもった暗い部屋にがっくりと座り込み、長いため息をついた。

つづく



『あたしもびょうきになりたいな！』

フランツ・ニーブランデンベルク・作 アリキ・ニーブランデンベルク・絵
ふくもと ゆみこ・訳 偕成社 1983年7月刊行



うらやましがりやの子どもにとって、人がしていることって、なんでも良く思えてしまうもの。
エドワードが病気になった時、エリザベスはとってもうらやましくなってしまいます。だって、エドワードを心配して、みんながご飯を運んでくれたり絵本を読んでくれたりするのですから。「あたしもびょうきになりたいなあ！」と思っていると・・・。
病気って本当はとても苦しいもの。それすらうらやましくなってしまう子どもの気持ちをストレートに表現したお話を。きっと子どもの共感を得られるはず！(河合)